

### 目次

#### 1 高次脳機能障害を学ぼう

##### 第4回 遂行機能障害とは

## 高次脳機能障がいを学ぼう

### 第4回 遂行機能障害とは？

遂行機能障害は行動の目的・計画・実行が難しくなる障害です。

遂行機能を大きく分けると、4つに分けることができます。

- ① 目標を決める
- ② 目標達成のための計画を立てる
- ③ 立てた計画を実行する
- ④ 状況に合わせてその都度調整をする



これらの機能の全部または一部が難しくなるため、様々な症状が出てきます。具体的な症状をいくつか挙げると

- ・ 指示されないと行動できない
- ・ 行き当たりばったりの行動が増える
- ・ 時間を逆算して、現実的な予定を立てることができず遅刻する
- ・ 立てた計画通りに作業を進めることができない
- ・ 予定がずれるとパニックになる
- ・ 一つ一つの作業はできるのに効率が悪く時間がかかってしまうなどがあります。

まずはどの部分が苦手になっているのかを見極めることが支援の第一歩になります。わからない場合には専門機関に相談してみましょ。また、「良い計画を立てることができるのに実行するのを忘れてしまう。」というように記憶障害の影響を受けて症状が現れることもあるので、他の障害の有無についても確認が必要です。職場や施設のやり方もありますが、時には本人が元々やっていた方法の方が良い場合もあります。もちろん安全性や社会性を考えると決められた方法で行うことは必要ですが、支援者側も決められた方法にこだわりすぎずに柔軟に対応していくことも大切なポイントです。本人の強みを生かしつつ苦手なところをうまく補うことが良い支援につながります。

- ・ お近くの相談できる機関については[こちら](#)で検索してみてください。次回は社会的行動障害についてお話します。



本年もよろしくお願ひします！